

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 31 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370395

研究課題名(和文)中国近世の歌唱をめぐる社会文化史的研究

研究課題名(英文) Sociocultural Study on Singing in the early modern China

研究代表者

大木 康 (OKI, Yasushi)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：70185213

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,300,000円

研究成果の概要(和文)：中国の明末清初期にも、さまざまな場面で歌が歌われていた。歌が歌われるさまざまな場面の資料を収集した結果、明末の時期において、歌舞が行われる場面を描いた絵を見ると、それはたいがい女性によるものであって、性別の偏りがあることが確認された。冒襄の『同人集』巻九に冒襄たちが、泰州の俞錦泉という人の家の女楽を聴いて作った詩が収められている。清に入ると、明代に盛んだった女楽は禁止されていたのである。俞錦泉の家を訪れて女楽を鑑賞した多くの人々は、多くは冒襄をはじめとする明の遺民たちであった。これらの人々は、女楽に、明王朝へのノスタルジーを感じ取っていたと思われるのである。

研究成果の概要(英文)：Songs were sung at various scenes in the late Ming and early Qing periods. I collected many materials which told us situations of singing songs at that time through this project. Seeing the images of singers in the late Ming and early Qing, almost all the pictures were those of female singers. We can find the gender unbalance.

Mao Xiang's Tongren ji includes poems by Cao Rong, Mao Xiang, and Xu Zhijian which described female entertainers of Yu Jinquan in Taizhou in the early Qing period. Many of the literati who visited Yu Jinquan's house and appreciated the music of his female entertainers were Ming royalists. Female entertainers were prohibited after the Manchu conquest. It was a quite rare case that Yu Jinquan preserved female entertainers in the Qing. Ming royalists felt nostalgia for the lost Ming dynasty, when they listened to the music by female entertainers. Female entertainers were the symbol of the Ming dynasty.

研究分野：中国文学

キーワード：中国 近世 明清 音楽 歌唱 演劇

## 1. 研究開始当初の背景

中国の明末清初期には、さまざまな場面で歌が歌われていた。演劇(中国の伝統演劇は基本的に歌劇である)の上演を通して歌を聴く場合もあれば、家に養っていた楽人による演奏と歌、また妓楼などにおける妓女の歌を聴く場合などなど、さまざまである。従来の研究では、音楽は音楽、演劇は演劇、そして歌詞を扱う文学は文学と分野が分断され、当時の演唱文化の全体像が把握されえないくらいがあった。そこで、明末清初期(17世紀)を中心として、中国近世(宋~清)における演唱文化の様相の全体像を明らかにしたいというのが、本研究開始当初の状況である。

## 2. 研究の目的

例えば、明末の小説である『金瓶梅』の巻を開くと、巻十一、花子虚の家での宴席の場面。

やがてその西門慶が、身なりをととのえ、四人の小者を従えてやって来たので、みんな立ち上がって迎え入れ、あいさつをかわしたり席を譲ったりします。主人が席を定めて、西門慶が一番上席にすわりました。ひとりの女郎にふたりの芸妓が、琵琶や箏を取って、その前で弾きうたいをしましたが、まことに得もいわれぬ梨園の嬌艶。器量といい、芸といい、二拍子そろって、そのありさまは、

衣裳うすものつもる雪、ふさふさ鬢は雲わかす、口はおちよぼの桜んぼ、杏の眼、桃の頬、腰はなよなよ柳かぜ、蘭の心に蕙の性、のどのよいこと木の枝を、流す鶯さながらに、舞いのしぐさは花の間を、移る鳳凰そのままよ、曲はゆかしい古調子、音はかざらぬ自然ぶり、舞いは明月を秦楼に落とし、歌は行雲を楚館に留める、高くしまれば、低くもゆるみ、玉を吐くよなよいしらべ、軽く速けりや重くもゆるく、金を打つよなよいひびき、箏は雁柱をならべてその声ゆるく、拍板は紅牙をたたいてその字あたらし。

やがて、酒は三巡りし、歌も二曲おわり、三人の歌姫は楽器を置くと、前に進んで、風にゆられる花の枝、ひらひらなびくぬいとりの帯といったかっこうで叩頭しました。(小野忍訳、岩波新書)

といった具合に、歌が歌われる場面が描かれている。文学研究はもっぱら歌詞についての研究であり、音楽研究もまた音楽そのものについてが関心の中心であって、実際に歌の歌

われる環境についての考察は十分ではなかったのである。そこで、この『金瓶梅』の例のような、当時実際に歌が歌われた場面の描写を集めることによって、明末清初期の演唱に関する社会的文化的な全体像を明らかにしたい、というのが研究の目的である。これは、文学、演劇、音楽など、個々別々の分野で研究が進められてきた当該テーマを総合する試みでもある。

## 3. 研究の方法

明末清初期における演唱の全貌をうかがうことが本研究の目標であるが、それに関する叙述は、当時の小説、戯曲、歌謡集、詩文集、随筆などなどさまざまな資料の中に見ることができる。まずは、当時における演唱の環境に関する資料を収集することが重要である。そうした資料をさらに分析し、歌い手のちがいや場面などによって相互に関連づけ、整理することによって、当時の歌の歌われた状況を詳細に描き出すことができる。

## 4. 研究成果

三年の研究期間のうちに、明末清初を中心とする歌唱関連の文献資料を集め、五万字分にも及んでいる。また、画像資料も百点あまり収集した。その収集整理作業を現在も継続して行っている。

文学あるいは音楽プロパーではなく、広い視野から歌唱文化を考察したことにより、さまざまな成果が得られたが、とりわけ大きな成果は以下の二点である。

(1) 中国の明末清初期にも、さまざまな場面で歌が歌われていた。明末の時期において、歌舞が行われる場面を描いた絵を見ると、それはたいがい女性によるそれであって、性別の偏りがあることが確認された。

もちろん男性の音楽家がいなかったわけではない。余懷の『板橋雜記』を見ると、そこには明末の南京秦淮で活躍した楽器の名手たち、例えば簫の名手であった張魁などの名を挙げている。また、孔尚任の『桃花扇』第二齣「伝歌」において、李香君に崑曲を伝授する清客として登場する蘇昆生がいる。彼らは男性の音楽家である。さらに当時の詩の中に、「歌者 生」または「歌者 郎」とする例を数多く見ることができる。つまり、明代にあっても、あきらかに男性の歌手、男性の音楽家はあった。しかしながら、現在見られる画像資料を見る限り、男性歌手が歌っている絵はほとんどない。

歌手の絵については、もっぱら女性とその描かれる対象になっており、きわめて偏ったジェンダーバランスになっていたのである。

(2) 清代に入って、明末に流行していた女性ばかりの楽団は禁止の対象とされたが、そのためもあって、女楽は、明王朝への思慕と深く結びついていたことが明らかになっ

た。

清初の明遺民たちが、泰州の俞灝という人の家の女楽を聴いていることを示す資料がある。『同人集』巻九「壬戌冬海陵寓館倡和詩」に曹溶、冒襄、許之漸の三名による、女楽の詩が収められている。曹溶の詩の題は、「壬戌の冬夜、巢民先生と共に水文の宅によぎりて女楽を観る。十絶を賦し、和せんことを索む」というもので、壬戌は康熙二十一年（1682）である。曹溶の詩の第一首の後には自注があり、

主人は世話好きで宴会を開くのを好んだ。この席にはほかに漱石、青嶼、半隱、長在、汲山、叔定などの諸君があった。

許承欽（漱石）、許之漸（青嶼）、呂半隱、長在（詳細不明）、孫繼登（汲山）、汪耀麟（叔定）らが宴席に連なっていたことがわかる。冒襄の詩の第四首目には、

呉門（蘇州）において南曲では沈恂如を推し、北曲では沈子芬を推す。わたしが呉門に行くと、恂如はいつもわたしに向かって、水文（俞灝）の諸姫たちだけがその歌を伝えているとって賛嘆していた。

といった自注があり、俞灝の家の女楽が、蘇州のすぐれた歌の歌い方を伝えている、音楽の正統を伝えていることを賞賛している。

俞錦泉の家を訪れて女楽を鑑賞した多くの人々は、冒襄をはじめとする明の遺民たちであった。明代には公の役所としての教坊があり、妓女を管理していた。しかしながら、清に入ると順治年間に教坊は廃止され、女楽は行われなくなってしまうのである。

そういった状況を考えると、康熙二十一年の時点において女楽を盛んにやっていた俞氏は、かなり特殊なケースにあたる。そして、そこに明の遺民たちが集まってきたこと、それはすなわちこれらの人々が、かつて明王朝の時代には盛んに行われながら、清の時代になってなくなってしまった女楽に、明王朝への限りのないノスタルジーを感じ取っていたからだと思われるのである。俞氏の女楽がこれだけの注目を集めた背後には、こうした明王朝へのノスタルジーがあったことがわかった。

明末清初の文人たちにとって、歌唱はさまざまな意味で、大きな位置を占めていたことが確認でき、今後もさらに当時の歌のテキストの形態や出版状況など、継続して研究を続けるべきテーマは多い。

なお、上記（2）については、2015年にアリゾナ州立大学での招待講演で発表したが、反響は大きく、その後、2016年のAAS(Association for Asian Studies)の年次大会にて行われた関連のパネルにおいて、討論者として招かれた。

## 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 5 件)

大木康、16、17世紀の世界文学(中国語) 復旦大学文史研究院編 『全球史、区域史と国別史 復旦、東大、普林斯顿三校合作会議論文集』 中華書局、査読無、2016、80-90.

大木康、元雜劇的東渡與日本能樂關係重探(中国語) 彭小妍編 『翻譯與跨文化流動：知識建構、文本與文體的傳播』 中央研究院中國文哲研究所、査読有、2015、37-54.

OKI, Yasushi. "Able official or comedian? How was Feng Menglong perceived through the eyes of his contemporaries?" *International Communication of Chinese Culture On Line*, Berlin, Heiderberg: Springer 査読有 2015, 1-12.

大木康、「夷」の国の学問 漢学と国学、田中優子編 『日本人は日本をどうみてきたか 江戸から見る自意識の変遷』、笠間書院、査読無、2015、13-23.

大木康、明王朝忠烈遺孤侯涵生平考述(中国語) 『中国文学研究』 第25号、査読有、2015、109-125.

〔学会発表〕(計 4 件)

大木康、馮夢龍「三言」中の「世界」、中央研究院中國文哲研究所・東京大学東洋文化研究所合同シンポジウム「世界の中の中国明末清初」、東京大学伊藤国際学術研究センター(東京都文京区) 2015年5月30日、31日

OKI, Yasushi, "An Index to Memories of the Ming: Poetic Exchanges on Early Qing Female Entertainers", (招待講演) "To Remember, Re-member, and Disremember: Instrumentality of Traditional Chinese Texts", Arizona State University (Phoenix, Arizona, USA), 2015年4月10日、11日

大木康、画像資料から考える中国明清の歌唱文化、第四回 東京大学東洋文化研究所、復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部 共催国際学術会議「宗教、文学と画像 国際シンポジウム」、東京大学山上会館(東京都文京区) 2014年12月15日、16日

大木康、近代以前における馮夢龍の読者とその評価、日本中国学会第65回大会、秋田大学(秋田県秋田市) 2013年10月12日、13日

〔図書〕(計 2 件)

大木康、中国人はつらいよ その悲惨と悦楽、PHP新書、2015.

大木康、明清文人の小品世界、王言訳 復旦大学出版社、2015. (中国語)

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等 なし

#### 6. 研究組織

(1) 研究代表者

大木 康 (OKI, Yasushi)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：70185213

(2) 研究分担者 該当なし

( )

研究者番号：

(3) 連携研究者 該当なし

( )

研究者番号：